

# ペストと近代中国



[ペストと近代中国 下载链接1](#)

著者:飯島 渉

出版者:研文出版

出版时间:2000-12-15

装帧:单行本

isbn:9784876361939

近代中国における伝染病の流行状況及びその歴史的背景を明らかにしながら、近代中国は伝染病の流行にどのように対応したのか、また、そのことが近代中国史にいかなる意味を持つものであったのかを検討する。

作者介绍:

飯島 渉 (イイジマ ワタル)

東京学芸大学教育学部社会科卒業

東京学芸大学大学院教育学研究科社会科教育学専攻修士課程修了

東京大学大学院人文科学研究科東洋史学専攻博士課程単位取得済退学

日本学術振興会 特別研究員(DC)

大阪市立大学文学部史学科 助手

横浜国立大学経済学部 助教授

神奈川大学 非常勤講師

横浜国立大学大学院国際社会科学研究科 助教授

日本女子大学 非常勤講師

横浜国立大学経済学部 教授

横浜国立大学大学院国際社会科学研究科 非常勤講師

慶應義塾大学大学院文学研究科 非常勤講師

慶應義塾大学経済学部 非常勤講師

長崎大学熱帯医学研究所 非常勤講師

東京大学教養学部 非常勤講師

2010/11 青山学院学術褒賞『感染症の中国史』(中央公論新社)(学校法人青山学院)

研究テーマ

(長期) 東アジアの社会史、経済史

(長期) 熱帯アジアにおける感染症の流行と社会変容

(短期) 近代中国を中心とする東アジアの疾病構造の推移と社会変容

研究業績 (著書・論文等)

1. 【著書】 『高まる生活リスクー社会保障と医療（中国的問題群）』 （共同） 2010
2. 【著書】 『感染症の中国史』 （単独） 2009/12
3. 【著書】 『シリーズ20世紀中国史』 （共同） 2009
4. 【著書】 "Colonial Medicine and Malaria Eradication in Okinawa in the Twentieth Century: From the Colonial Model to the United States Model" （単独） 2009
5. 【著書】 （編著） 『東アジアの中の日韓交流』（濱下武志, 崔章集編）「医療・衛生事業の制度化と近代化ー「植民地近代性」への試論ー」 2007/03

6. 【著書】 (編著) 『21世紀の中国近現代史研究を求めて』 (飯島 渉, 田中比呂志編) (共同) 2006/11
7. 【著書】 (編著) 『帝国「日本」の学知一実学としての科学技術』 (田中耕司編) 「宮入貝の物語—日本住血吸虫病と近代日本の植民地医学」 2006/10
8. 【著書】 『マラリアと帝国—植民地医学・帝国医療と東アジアの広域秩序—』 (単独) 2005/06 [PDF]
9. 【著書】 『中国近現代史研究のスタンダード—卒業論文を書く—』 田中比呂志, 飯島 渉編) (共同) 2005/04
10. 【著書】 Spanish Influenza in China, 1918-1920, Spanish Flu (D. Killingray 他編) 2003/05 [PDF]
11. 【著書】 「伝染病与辛亥革命」 『辛亥革命与20世紀的中国』 (中) 卷 (中国史学会編) 2002/08
12. 【著書】 (編著) 『疫病・開発・帝国医療』 (見市雅俊, 齊藤 修, 脇村孝平, 飯島 渉編) (共同) 2001/08
13. 【著書】 『ペストと近代中国』 (単独) 2000/12
14. 【著書】 (編著) 『華僑・華人史研究の現在』 (飯島 渉編) (単独) 1999/03
15. 【論文】 「中国史」が亡びるとき (単独) 2011/08
16. 【論文】 The Patriotic Hygiene Campaign (愛国衛生運動) and Restructuring of Society in China: Historical Meaning of the Institutionalization of Public Health (単独) 2011
17. 【論文】 (日本語標題なし) "The establishment of Japanese Colonial Medicine: Infectious and Parasitic Disease Studies in Taiwan, Manchuria, and Korea under the Japanese Rule before WWII" (単独) 2010/03
18. 【論文】 「一位細菌学家和共產主義者眼中的中国社会—国崎定洞在青島 (中国語、劉萍訳)」 (単独) 2009
19. 【論文】 「感染症の流行に関する歴史データの整理とその国際保護・疫学への応用」 (単独) 2008/08
20. 【論文】 「作為歴史進程指標的伝染病」 (中国語) (単独) 2007
21. 【論文】 「熱帯の誘惑—近代日本のマラリア研究—」 (単独) 2003/11
22. 【論文】 「SARS与中国社会：歴史的展望」 (単独) 2003/07

目録: 序章 伝染病・衛生・国家

第1章 腺ペストの世界化—一九世紀末から二〇世紀初頭

第2章 腺ペストの流行と衛生の政治化

第3章 日本の台湾統治と腺ペスト・マラリア

第4章 満州における肺ペストの流行――一九一〇年から一九一一年

第5章 肺ペストの流行と衛生の政治化――一九一〇年から一九一一年

第6章 民国初期における衛生の「制度化」――中央防疫処を中心として

第7章 一九一九年のコレラ流行

第8章 衛生の「制度化」の国際的契機――シンガポール伝染病情報局の設立

第9章 衛生の「制度化」と検疫権の回収

補論 近代東アジアにおける伝染病の流行

終章 近代中国における衛生の「制度化」と社会変容

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[ペストと近代中国\\_下载链接1](#)

标签

日文

医学史

日语

评论

豆瓣所用标题拼写有误，ペスト，不是ベスト

-----  
条理清晰，事无巨细，除了敬佩说不出别的了。

-----  
[ペストと近代中国\\_下载链接1](#)

书评

1910年11月7日，哈尔滨傅家甸出现了两名从满洲里坐火车而来、贩卖毛皮的猎人。他们一路奔忙，生意做成之后，没过几天就患病死去，死前一个月，还没有什么症状，而死前的几天则情况异常：高热寒颤，胸痛咳嗽，咳出了大量的泡沫血痰，很快就感到呼吸困难。两个猎人死去时皮肤发黑...

-----  
大约在2003年春天，我非常意外地收到了时为日本横滨国立大学饭岛涉先生惠赠的大作——《鼠疫与近代中国：卫生的“制度化”与社会变迁》（『ペストと近代中国：衛生の「制度化」と社会変容』、東京、研文出版、2000）。该著出版的时间，也正是我的博士论文《清代江南的瘟疫与社...

-----  
本书由于是论文体可读性确实稍差一些，从卫生制度（检疫、疾控）的变迁来看日本和对殖民地统治，特别是中国的社会变迁的角度着实新颖。有几个印象深刻的点：  
1、日本的卫生制度改革始于甲午战争，因为发现士兵死于传染病数量的数额远超战死数量，如何有效避免传染病造成士兵损...

-----  
[ペストと近代中国 下载链接1](#)